

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2016年(平成28年) 3月1日 第105号

平成28年度診療報酬改定～キーワードは退院支援～

事務長 澤谷 久枝



去る2月10日に、診療報酬改定の概要が中医協から答申されました。概要は以下の通りです。

1. 地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化・連携の視点。

ポイントは、医療機能に応じた入院医療の評価。チーム医療の推進、勤務環境の改善、業務効率化の取組を通じた医療従事者の負担軽減・人材確保。地域包括ケアシステム推進のための取組の支援。質の高い在宅医療・訪問看護の確保。2. 重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点。ポイントは、緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価。「認知症施策推進総合戦略」を踏まえた認知症患者への適切な医療の評価。口腔疾患の重症化予防・口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した医療の推進。3. 患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質の高い医療を実現する視点。ポイントは、かかりつけ医の評価、かかりつけ歯科医の評価、かかりつけ薬剤師・薬局の評価。情報通信技術(ICT)を活用した医療連携や医療に関するデータの収集・利活用の推進。

質の高いリハビリテーションの評価等、患者の早期の機能回復の推進。4. 効率化・適正化を通じて制度の持続可能を高める視点。ポイントは、退院支援等の取組による在宅復帰の推進。残薬や重複投薬、不適切な多剤投薬・長期投薬を減らすための取組など医薬品の適正使用の推進。重症化予防の取組の推進。医薬品・医療機器・検査等の適正な評価。(当院に関連するもののみ抜粋) 2025年に向けて、国が急性期・慢性期病床の絞り込みを進める中、機能を落とすのではなく、あえて川上の方向へ病床機能を高める動きが出てきています。地域医療構想と連動させながら、その成否は、重点課題である入院患者の在宅復帰にどれだけ寄与できるかにかかっているといえそうです。

今回のキーワードは「退院支援」です。地域で生活をされている患者さんを、入院医療でしか提供できない医療提供が終われば、速やかに入院生活という「非日常」な環境から、自宅またはそれに代わる生活の場への退院を目指すことが重要です。今までの機能は退院調整であり、療養を継続していくために必要な環境を整えることを重きにおいてきました。今回の「退院支援」は患者さんの人生の再構築を支援する意味でも、患者さんが自分の病気や障がいを理解し、退院後も継続が必要な医療や看護を受けながら、どこで療養するのか、どのような生活を送るのかを自己決定するための支援であると受け止めています。当院の急性期、地域包括ケア、回復期リハ、長期療養、ホスピスのどの病棟機能においても、このような視点を持ちつつ、いつのときも、患者さん・ご家族の方の思いに寄り添うご支援ができればと願っています。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

主は言われた。「わたしはあなたの前にすべてのわたしの善い賜物を通らせ、あなたの前に主という名を宣言する。わたしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ。」

旧約聖書 出エジプト記 33章19節

チャブレン 安部 勉



誰もが「願いを叶えて欲しい」と思います。年が改まると多くの方が「初詣」に出向き願いを祈ります。商売繁盛、健康であること、学業の向上、家族の無事などその思いは様々です。親が子供を案じることもあるでしょう。病気から解き放たれることを心から祈りつつ過ごしている方もおられるでしょう。

苦境を脱するために祈ったところ、救われたり、逃れの道が示されたり、思いもよらぬ助けが与えられたならば、神さまへの感謝の念も深まります。

イスラエルの民がエジプトで奴隷として苦しい日々を過ごしていたころ、奴隷の身から解き放たれることを待ち望んでいました。そして解放の日が告げ知らされた時、人々は神さまへの感謝を思ったことでしょう。しかし、人々が望んだ喜びの日は長く続きません。それどころか「ゴール」が見えず、困難な状況に直面し、人々の神さまへの信頼や解放してくれたことへの感謝の思いは失われていきます。もっと願いを叶えてくれる神様がいるならば、と心揺れ、自分たちの創った像を神さまとして時にすぎりました。

イスラエルの民を率い、約束の地への導く指導者、モーセ。彼は神との対話を持ちました。それは神への訴えでもありました。「どうか、あなたが私たちの民の神であることを示してほしい」と。

モーセは神さまに言いました。「一体何によって、わたしとあなたの民に御好意を示してくださ

ることが分かるでしょうか。あなたがわたしたちと共に行ってくださいることによってではありませんか」と。

神さまが神さまであること、それは「共にいること」ではないか！この訴えに神さまは「願いを叶えよう」と言われました。そして、今月の聖書の言葉、神ご自身が恵みと憐れみをあなた達に注ぐと言われました。

ユダヤの民にとって神さまへの願いとは「共にいてくださる方」であること。そしてそれは確かに約束されたこと。

神さまを信じる、ということは「一緒にいてくださる」ということを信じることです。自分が成功し富が得られる時もあるでしょう。悲しみや苦しみに打ちひしがれる時もあるでしょう。大切な家族が奪われる時があれば、新たないのちの誕生の喜びも与えられる。思いもよらぬ事故や災害に絶望する時もある。人々は感謝を捧げ、苦難を嘆き、意味を見いだせないような悲しみ、嘆きを神さまに訴えるのです。

神さまはなお、民に語りかけます。「あなたと共にいる」と。

これ以上の救いはない、イスラエルの民はこの思いをもって歩み続けるのです。神さまへの信頼が揺らいでも、苦しみと悲しみに神さまを見失っても、なお「あなたと共にいる」と呼びかける方が私たちを愛する神さまなのだ、と。

在宅サービス部門だより

亡き介護の先輩に感謝

同じ訪問介護ステーションで働いて先輩のOさんは、周りから「ヘルパーの神様」と呼ばれていました。しかし、癌との闘病の末昨年10月半ばに亡くなりました。いつも明るい笑顔と思いやりの心を忘れず、利用者の皆さんがどうすれば在宅で安心して暮らすことができるかを常に考えている人でした。介護福祉士やケアマネジャーの資格も取り、まさにヘルパーのお手本でした。その優しさに、利用者の皆さんや新人のヘルパーはどれだけ救われた事でしょう。亡くなられてから3ヶ月余り。今でもたびたび思い出される言葉があります。Oさんは「クレームは宝です」と言わ

ホームヘルパーST 角野仁巳

れていました。失敗を素直な気持ちで受け入れ、二度と同じ失敗を繰り返さない、適切なケアをし、仕事をさせてもらえる事に対して感謝の気持ちを忘れない事だと解釈しています。未熟な私をここまで引っ張ってもらい、先輩には感謝の気持ちでいっぱいです。病院のクリスマス会で、先輩に教えてもらいみんなでやった手話「負けないで」「世界に一つだけの花」いい曲ばかりでしたね。しっかり心に刻みつけていますよ。

ありがとう、Oさん。これからもホームヘルパーステーションヴォーリズのみんなを遠い空から見守って下さいね。

ヘルシークッキング 3月

蛤のお吸い物



エネルギー 12kcal タンパク質 1.7g 脂質 0.2g 塩分1.7g (1人分)

★材料(2人分)

- ・蛤 4個
- ・水 2+1/2カップ
- ・昆布 7cm角1枚
- (A)塩 小さじ 1/2杯、酒 大さじ1杯
- ・結び三つ葉 2本



★作り方

- ① 蛤は薄い塩水に浸けて一晩おき、砂出しをする。
- ② 昆布は表面を固く絞った布巾でふき、分量の水に30～1時間浸け、火にかけて沸騰直前に取り出す。
- ③ ②によく洗った蛤を入れ、煮立ったらアクをすくい、火を弱め、貝の口が開いたら取り出す。
- ④ ③の煮汁に(A)を入れ、味を整える。
- ⑤ 器に蛤を盛り、④の煮汁を注ぎ、結び三つ葉を飾る。

3月3日は「桃の節句」、雛祭りの日ですね。雛祭りの料理の定番と言えば、れんこんや海老など縁起の良い食材を用いた「ちらし寿司」と「蛤の吸い物」。蛤は女の子の美德と貞節を意味し、貝殻の大きさや形がそれぞれ異なるため対となる殻以外とは合わないため、夫婦和合の象徴として結婚式の祝い膳にも使われるなど、おめでたい席には欠かせない食材です。普段はなかなか食べる機会の少ない蛤ですが、その名の由来は「小石（ぐり）のようにたくさんいたから」という説もあり、遺跡から出土される貝の8割ほどが蛤であるなど古来から親しまれて食用されてきた貝でもあります。

このような蛤ですが、その上品な旨味もさることながら栄養面でも非常に優秀な食材でもあります。特に日本人に不足しがちなカルシウムや鉄分が豊富で、カルシウムは牛乳とほぼ同量、鉄分はほうれん草よりも多く含まれています。他にも肝臓の解毒作用の増強や疲労回復に効果のあるタウリンが多いことも特徴的です。貝類全般に言えることですが、貝類は海水に溶けている色んなミネラルや栄養素を貝殻の中に閉じ込めています。

今年は「ちらし寿司」に「蛤の吸い物」もつけて栄養補給をしながら家族の無病息災を祈ってみたいかがでしょうか？

健康について

外来 塚田 朋子

「健康のありがたみを実感して」

昨年1年間、私と私の家族は次から次へと病院のお世話になりました。子供達も何かしら病気をもらって、ひどい時は一週間学校へ行けない事もありました。私自身も、体調がすこぶる良い時が少なく、家族みんなにとって良い年とは言えませんでした。しかし体調不良によって、健康でいられる大切さを心底あ

りがたいと感じる事が出来ました。私の役割で一番に大事なものは、子供達を守る母として元気であることです。無理をせず、感謝を忘れず、丁寧な暮らしを心掛けていきたいです。また、いつも主人と運動を始めようと言いつつ口先だけで終わってしまうので、未来の自分のために実現したいと思います。

報告1

社員会ポーリング大会

体育委員 管理課 中西 敦史

1月22日近江八幡エースレーンにて、社員会ポーリング大会が今年も開催されました。老健センター、財団本部、信愛館、学園、株式、オドエアーサービス、在宅部門、記念病院と各事業体より総勢81名。過去最高の参加人数となりました。

1ゲーム目は、同事業体同士で練習ゲーム。顔なじみのメンバーでゲームを楽しみ、どのレーンも大いに盛り上がっていました。2ゲーム目は、各事業体がシャッフルされ豪華景品が、かかった本番ゲーム。自己紹介から始まり、緊張しながらゲームがスタートしたように感じましたが、すぐにどのレーンでも1ゲーム

目に負けないくらいの盛り上がりを見せ、スペアやストライクが出れば、ハイタッチをし合うなど、和気あいあいと非常に和んだ雰囲気となりました。また、身体を動かすことで緊張がほぐれ、余計に会話も弾んでいたように感じました。

普段交流の機会が少ない各事業体との交流の場もなっている、社員会ポーリング大会。来年度、皆さまの参加を是非ともお待ちしております。

最後に、ご協力いただきました体育委員の皆さま、参加者の皆さま、ありがとうございました。感謝。



報告2

平成27年度ヴォーリズ記念病院
「第1回 がんセミナー」に参加して

訪問看護ステーションヴォーリズ 曾我 菜穂子

1月23日(土)ケアセンター信愛館において、今年度第1回目のがんセミナーが開催されました。今年度のセミナーのテーマは「人生の苦楽をみつめる」です。1回目は「人生の意味を考えること」を学ぶべく、ウィーン精神科医で、臨床的な哲学者でもあるフランク(1905-1997)の研究をされている、関西学院大学の岡本哲雄先生をお招きし「フランクから考える人生の意味」-証すること・つながり-というテーマでお話いただきました。フランクとは、ユダヤ人で、第2次大戦中にナチスの強制収容所に入れられ、奇跡的に生き残った後、『夜と霧』という題で知られる強制収容所の体験記録を残したことにより世界中で有名な人です。フランクが生涯追求したのが人間にとっての「人生の意味」というテーマでした。“がんセミナー”という場で『人生の意味を考える』ということは、漠然とした難しい話になるのではないかと考えていましたが、参加

者の皆さんは熱心に聞き入っておられ、終了後には「もっとゆっくり聞きたい」という声も聞かれました。私が今回理解できたのが「『私は、人生に何を期待できるのか』という自己中心的な視点を180°転換してみることで、『人生は、私に何を期待しているのか』と人生の意味を考えることができる」ということです。例えば自分がんになったときにそう考えることができたなら、何かを遺すことができるのかも…とそんなことを考えました。



報告3

第111回 近江兄弟社創立記念式

2016年2月2日(火)株式会社、学園、一粒社ヴォーリズ建築事務所、近江オドエアサービス、老健、病院の各事業体の職員及び多くのOB参加のもと、近江八幡教会にて、第111回近江兄弟社創立記念式が執り行われました。

事務次長 櫻井卓哉



1部の記念礼拝終了後、第2部では勤続25年表彰が行われ、対象者の4名の方々(学園3名、近江オドエアサービス1名)が表彰されました。次に各事業体の報告があり、休憩をはさみ第3部の記念講演が始まりました。今回は元一粒社ヴォーリズ建築事務所長OBである矢野 義氏による『伝道する建築家ヴォーリズの原点』と題し、近江兄弟社建築部に入社後、同社建築部の廃止に伴い、一粒社ヴォーリズ建築事務所設立に参加した様子やヴォーリズ氏とのエピソード・回顧録の講演に多くの出席者は耳を傾けていました。

各事業体が『協力前身』を掲げ、今後の益々の発展を祈念致します。

報告4

第234回 ミュージックタイム



さる2016年1月23日、「第234回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。

1月のミュージックタイムは山本厚志さん、節子さんのお二人です。毎年真夏と真冬に素敵な音色を届けてくださいます。心暖まる素敵な一時でした。

「生と死を考える会 淡海」 公開講演会

日時：平成28年3月6日（日）
午後1時30分～午後3時
会場：ヴォーリス記念病院「研修室」（新館1階）
<http://www.vories.or.jp/>

「自分らしく生き、自分らしく死ぬ」
～命の「作法」～

講師：岡田玲一郎 先生
（社会医療研究所所長）



「・・・確かに90歳を超える方と70歳代の方の医療・福祉の考え方が同じであって良いの
だろうかと感じる事が現場でもある。高齢者には時が遅いかも知れないが、高齢者予備軍で
ある私達は“自分の死に対する考え方”を明確にしておく事がこれからの医療を変えていくこ
とに繋がるのではないだろうかと感じた。」（講演記録より）

誰もが迎える「死」。数多くの現場で医療のあり方を見つめ、病院
のあり方について多くの示唆を与えてくださる岡田先生を迎え共に
「自分の死」について考えてみませんか？

岡田玲一郎先生 プロフィール

社会医療研究所所長。昭和8年岡山県生まれ。30年明治薬科大学卒業
と同時に堀井薬品工業（株）にプロパーとして入社。33年医療法人慈
光会入職、薬局長と事務長を務める。48年社会医療研究所創設、所長
に就任。48年より63年まで立教大学社会学部講師（施設管理論）を
務める。（社）日本病院会顧問（本データはこの書籍が刊行された当時
に掲載されていたものです）
『病医院の経営を推進する人材育成法60 NEW・JMPシリーズ』より

※入場料無料、参加連絡不要です。
開場：午後1時より
お車で越しの方は病院外来駐車場をご利用ください。

当日は病院バスは運行されません。バス、タクシーをご利用ください
ますようお願いいたします。



【お問い合わせは】
公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 安部まで
TEL：0748-32-5211
E:mail:vories-reihaidoh@vories.or.jp

～フィットネスからの入会募集のお知らせ～

MEDICAL FITNESS CENTER VORIES
メディカルフィットネスセンターヴォーリス
あなたの健康づくりをサポート

メディカルフィットネスセンターヴォーリスは『生活習慣病予防』と『介護予防』に積極的に取り組みます。

3つの理念	利用料金	営業時間						
		月	火	水	木	金	土	日
① お話するすべての人へ笑顔で 対応いたします。 ② 利用者の目としっかり耳をかた むけニーズに応じた最高のサー ビスを心がけます。 ③ 利用者の健康状態を理解して 一緒に健康づくりをお手伝いし ます。	①入会金 3,750円（各検査、詳細料含む） ②月会費 8,208円（週1回以上利用） 5,400円（週1回利用） 3,024円（週1回以下利用） ※年会費でのお申込みの方は上記金額の10ヶ月分の料会 でご利用いただけます。（別紙要あり） ③目的別個別トレーニング 2,300円（1回 30分） 4,500円（1回 60分）	9:30～12:00	—	—	—	—	—	—
	11:30～17:00 17:30～20:00	—	—	—	—	—	—	—
	17:30～20:00	—	—	—	—	—	—	—

入会時の注意
 ① 医師から運動を止められている方、要介護認定1～5を受けている方は入会をお断りさせていただきます。
 ② 病院や診療所にかかられている方は、必ず当センターへお申し出ください。

その他
 ① 初回手続きには入会金、初級、引き落とし可能な通帳口が必要となります。月会費は口座からの引き落としとなります。
 ② 利用者の情報は厳重に管理し、情報保護をいたします。

評価 身体計測、柔軟性、骨密度、反応速度、重心動揺を個別測定します。

運動 運動前に心拍、体重、体脂肪率の測定を行います。病気や怪我等で運動に不安のある方でも様々な身体状況に合わせて無理なく安心して運動していただけます。

各種運動機器 膝力向上や、バランスの調整や向上のための器具、体用ゴムバンドを取り揃えております。

施設 有酸素運動機器、筋力トレーニング機器、ストレッチマット、パナソニックトレーニング機器、更衣室

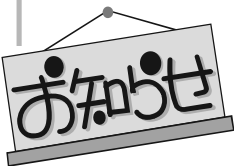
公益財団法人近江兄弟社
 メディカルフィットネスセンターヴォーリス
 〒523-0806 滋賀県近江八幡市北之庄町492（看護センター1階内）
 TEL : 0748-32-5540
 FAX : 0748-32-5541
 E-Mail: medifit-v@vories.or.jp
 ご連絡、お待ちしております!!

平成27年度ヴォーリス記念病院 「がんセミナー」のご案内 ～テーマ「人生の苦楽をみつめる」～

今年度は「人生の苦楽をみつめる」をテーマに哲学的な視点、訪問看護での視点から皆さんと一緒に学び、考えていこうと企画いたしました。ご一緒に人生について振り返り、見つめる時を共にすごしませんか。

- 第1回 2016年1月23日(土) **「フランクから考える人生の意味」**
 — 証しすること・つながり —
 関西学院大学教育学部教授 岡本 哲雄 様
- 第2回 2016年2月20日(土) **「『その人らしさ』に寄り添う」**
 訪問看護ステーション ふれんず 柴田 恵子 様
- 第3回 2016年3月19日(土) **「がんと闘うためには」**
 ヴォーリス記念病院ホスピス医 奥野 貴史 先生

【時間】 いずれも午後2時～午後4時
 【場所】 ケアハウス信愛館(当院ホームページのマップをご参照ください。)
 【定員】 30名
 【お申込】 氏名、住所、電話、参加希望人数を明記のうえ、メールにてお申し込みください。定員に達した時点で締め切りとさせていただきます。(申し込み後、メールの返信をもって参加証といたします。ご持参ください。)
 【お問合せ】 公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院(がんセミナー担当:安部)
 FAX : 0748-32-2152 E-mail : vories-reihaidoh@vories.or.jp

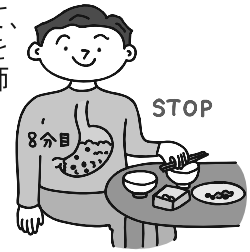


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 **3月24日(木)** 12:00~13:30 場所 **新館研修室(病院内)**
講師 **看護師**

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
1	5月26日(木) 14:00~16:00	「身体を動かして 認知症を吹っ飛ばそう」	メディカルフィットネスセンターヴォーリス 介護福祉士 田辺 彰太 氏
2	7月28日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X I」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
3	9月15日(木) 14:00~16:00	「認知症になってもその人 らしい生き方を支える」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏
4	11月24日(木) 14:00~16:00	「認知症の予防(運動編)」	ヴォーリス記念病院 作業療法士 宮本 優子 氏
5	2月26日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館 (旧 Y M C A 会館)
近江八幡市為心町中31番地 (近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 1回目5月23日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

メディカルフィットネスセンター

会員募集

あなたの健康づくりをサポート

安心して楽しく運動して頂けるよう、からだの状態を評価し、お一人お一人の運動メニューを提供致します。

受付時間 9:30~17:00
利用時間
月・水・木・土/ 9:30~17:00
火・金/ 9:30~20:00
定休日 日曜日・その他(年末年始など)

近江八幡市北ノ庄町492
ヴォーリス老健センター 1階内
TEL 0748-32-5540

地域連携課

介護・入院・施設の入等で、
お困りのことがあり
ましたら、お気軽に
お越しください。
本館2階の
エレベーター前です。



“患者サポート支援窓口”の設置

外来診療・入院生活・治療等についてお困りのことがございましたら患者サポート支援窓口までご連絡下さい。

(担当 岡田・加藤・村松)

働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当:澤谷)

健康生活について「出前講座」のご案内

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。また、この講座を地域で開催することにより、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めたいと思っております。ぜひご利用ください。



ヴォーリス記念病院では下記の講座を実施しております。

- お聞きになりたいと思われる病気(生活習慣病関連・感染性疾患、インフルエンザや消化器疾患、脳疾患、がんなど)について医師からの話
- ホスピスについて、緩和医療や在宅看取りなど医師や緩和認定看護師、訪問看護師などからの話
- リハビリ療法士の体操や看護師・栄養士・薬剤師などからの話
- 自宅で療養を継続させるためのサービスの具体的な内容などについて、訪問看護やホームヘルパーやケアマネジャーからの話

お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-36-5460 (直通)
ホームページでもご覧いただけます。 FAX: 0748-32-2152
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課まで

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方

希望という名の ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス(希望館)長 堀井 剛先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医師課受付にてお問い合わせ下さい。